

お客さま本位の業務運営に関する具体的な取組状況について

足利小山信用金庫

当金庫では、お客さまの資産形成におけるお客さま本位の業務運営の定着を図るために、2018年3月「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」を策定・公表しました。

今般、2024年3月末時点の取組状況を公表いたします。今後もよりお客さまにわかりやすくご確認いただけるよう、定期的に見直しを行い、公表してまいります。

1. お客さまへのわかりやすい情報の提供に関する取組み

お客さまのライフステージに応じた商品・サービスについて、わかりやすく説明することを目的として、初心者の方向けに投資信託の初歩から説明できるファンドブックを作成しております。また、お客さまへの説明時は重要情報シートを用いて、ファンドの特徴や手数料、運用状況等をわかりやすく説明できるよう努めております。

➤「投資信託ラインナップ」パンフレット

投資信託の魅力

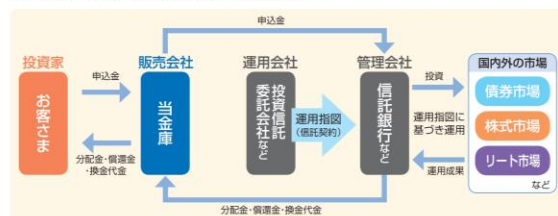
投資信託はさまざまな魅力を持ち、資産運用における優位性を備えた商品です。



投資信託のしくみ

経験豊富な専門スタッフが、お客さまに代わって資金を運用します。

投資信託は、お客さまからお預かりした資金を一つにまとめて株式や債券に投資し、その運用成果をお返りする商品です。大勢のお客さまからお預かりした資金は「ファンド」という形でまとめられ、投資の専門家である投資信託委託会社によって運用されます。資金を一つにまとめて投資することで、個人では難しかった大きな額の投資などが可能になるメリットがあります。なお、運用成果はそれぞれのお客さまの投資額に応じて分配されます。



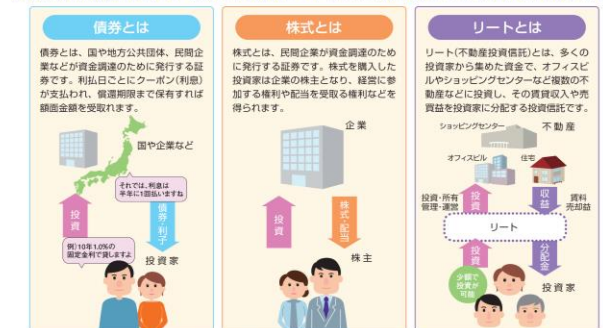
投資信託に携わる各会社の役割

販売会社(当金庫)	運用会社(投資信託委託会社)	管理会社(信託銀行)
ファンド購入の窓口としてお客さまにさまざまなアドバイスを行います。	お客さまからお預かりした資金を実際に運用します。	お客さまの財産を保管・管理します。

※お客さまの購入したファンドは、販売会社から投資信託委託会社を経て、信託銀行に信託財産として分別管理されています。
※投資信託の販売・運用・管理を担当する会社にも関わらず、信託財産の安全は確保されています。

投資信託が投資対象とする資産

投資信託が投資対象とする債券や株式、リートなどの資産は、それぞれ特性が異なります。



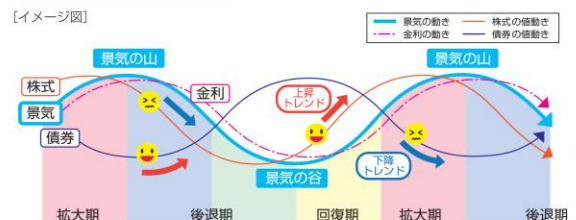
※上記は「債券」「株式」「リート」についての一般的な特徴を簡潔にまとめたものです。必ずしも記載の通りにならない場合もありますので、ご注意ください。

景気循環と株式・債券の値動き

景気循環の局面により株式や債券の価格は、異なるタイミングで動く傾向があります。

景気循環と株式・債券の関係

[イメージ図]



株式の値動きと景気循環の関係

株式市場は、景気の山や谷を「先取り」する傾向があります。つまり、景気が回復する前から上昇を始め、景気が後退する前から下がり始める傾向があります。

債券の値動きと景気循環の関係

景気が良くなると金利が上昇する傾向があります。金利が上昇すると国債など債券の価格は下がります。逆に景気が後退すると金利が下がり債券価格が上がる傾向があります。

※上記は景気循環と株式・債券の値動きを一般的に示したものです。実際の市場動向とは必ずしも一致するものではありません。

2. お客さまにふさわしい商品の提供

お客さまの金融知識、取引経験、資産状況、取引目的等に応じた適切な商品をご選択いただけるよう、商品ランナップの充実に努めております。

詳しくは、当金庫ホームページ（トップページ ▶増やす ▶投資信託）をご覧ください。

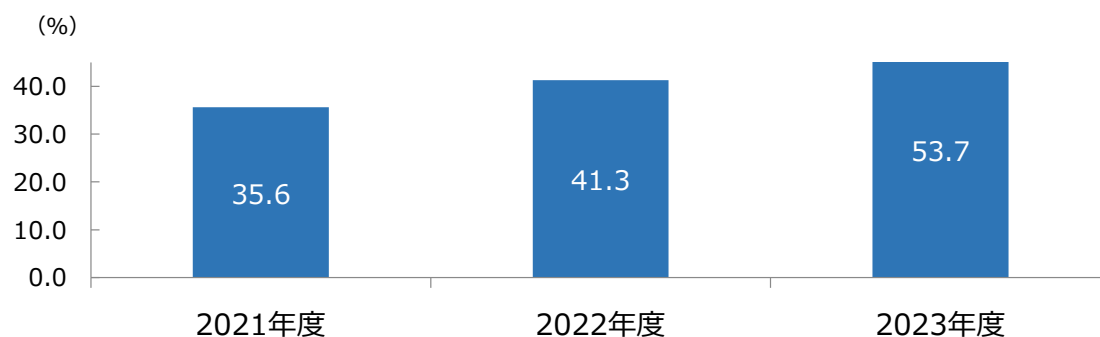
（1）投資信託の販売額上位 5 商品

○投資信託の販売額上位 5 商品

順位	2021年度				2022年度				2023年度			
	銘柄	決算別	投資対象	販売額 (百万)	銘柄	決算別	投資対象	販売額 (百万)	銘柄	決算別	投資対象	販売額 (百万)
1	しんきんJリートオープン	毎月決算型	国内リート	637	しんきんJリートオープン	毎月決算型	国内リート	405	ダイワ・インド株ファンド	年4回決算型	外国株式	316
2	グローバル・ヘルスケア&バイオファンド	年2回決算型	内外株式	493	新光US-REITオープン	毎月決算型	外国リート	279	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回）	年2回決算型	内外株式	309
3	グローバル・ロボティクス株式ファンド	年2回決算型	内外株式	472	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	年1回決算型	国内株式	256	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	年1回決算型	国内株式	277
4	新光US-REITオープン	毎月決算型	外国リート	232	グローバル・ロボティクス株式ファンド	年2回決算型	内外株式	193	しんきん全世界株式インデックスファンド	年1回決算型	内外株式	263
5	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド	年1回決算型	内外株式	138	グローバル・ヘルスケア&バイオファンド	年2回決算型	内外株式	151	新光US-REITオープン	毎月決算型	外国リート	256

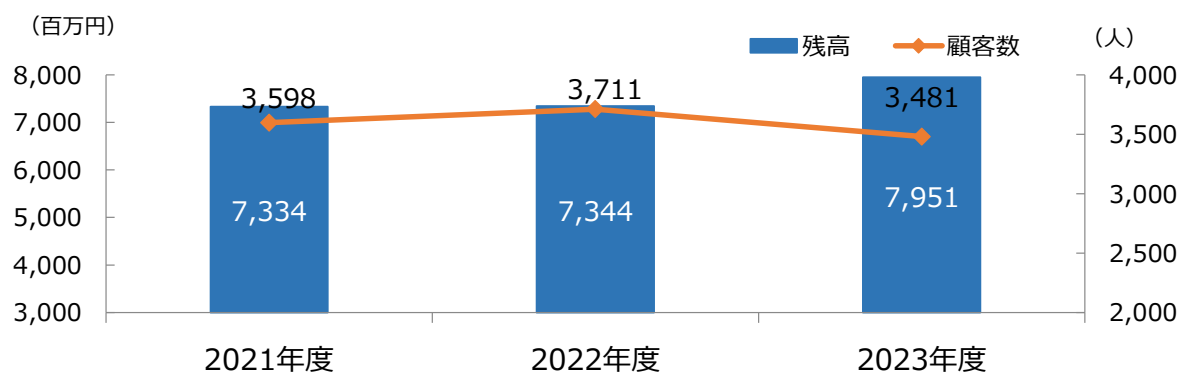
（2）投資信託残高における毎月決算型以外の構成比率

投資信託の残高における毎月決算型以外の構成比率は、前期比+12.4ポイントの53.7%となりました。



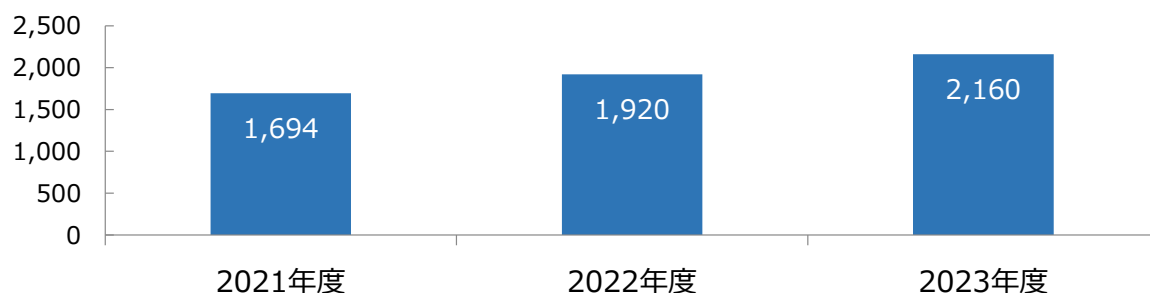
（3）投資信託の残高・顧客数

2023年度は、市況が良かったことから、残高は増加しましたが、新NISA移行に伴うアフターフォローの結果、毎月分配型のファンドを中心に保有していたお客さまの解約が増加したことから、顧客数は減少しました。



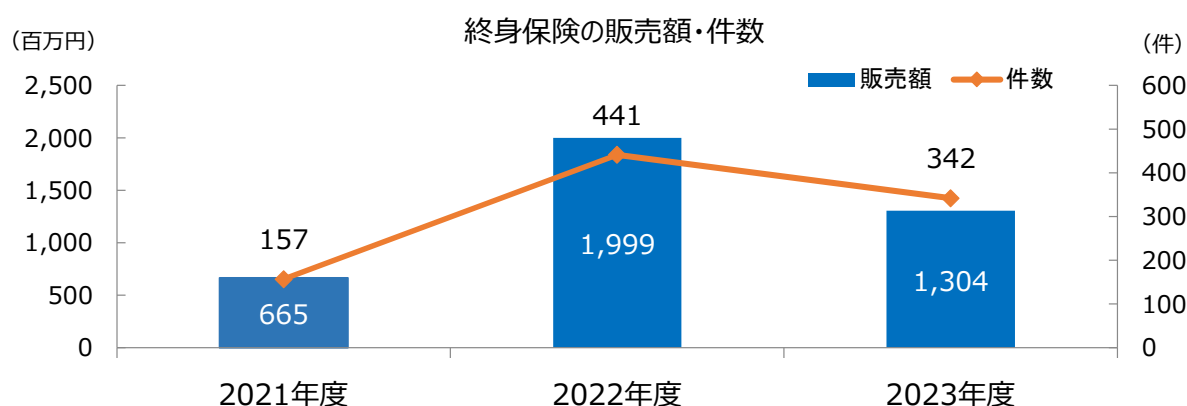
(4) 積立投資信託の取扱件数

少額から始められ、リスクの分散も図れる積立投資信託の取扱件数は年々増加傾向にあり、2023年度は2,160件の取扱いとなりました。



(5) 終身保険の販売額・件数

2023年度においても、商品の予定利率が従来より高い水準であることから、昨年度よりは販売件数・金額ともに低いものの、好調となっております。



3. お客様のニーズに対応できる人材の育成

お客様の多様なニーズに応えるべく、ファイナンシャルプランナーの資格取得の推奨を通して、職員のスキルアップを図るとともにお客様の資産形成に関するコンサルティング能力の向上に努めてまいります。

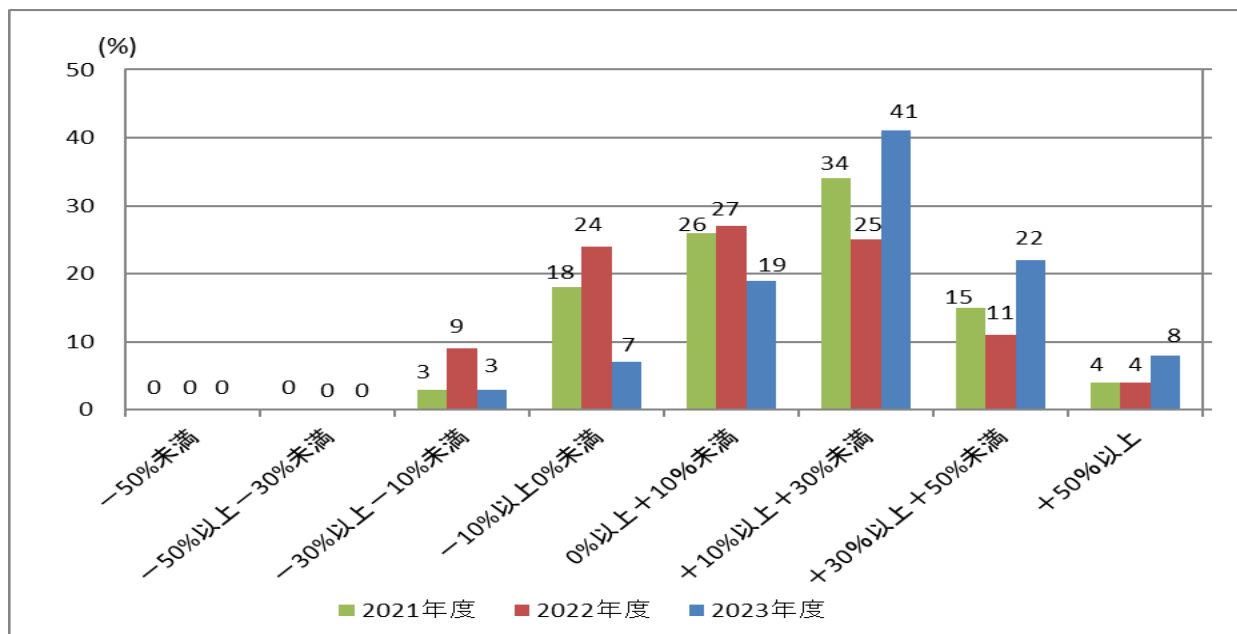
(1) ファイナンシャルプランナー（FP）資格取得者数及び取得率

	2021年度	2022年度	2023年度
F P 資格取得者数	121	123	123
職員数	295	283	281
取得率	41.0%	43.4%	43.7%

4. 投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

(1) 投資信託の運用損益別顧客比率

金融市場の変動を背景に、2024年3月末時点で、当金庫で投資信託を保有されているお客さまのうち、運用損益(注1)がプラス(0%以上)のお客さまの比率は、90%となりました。



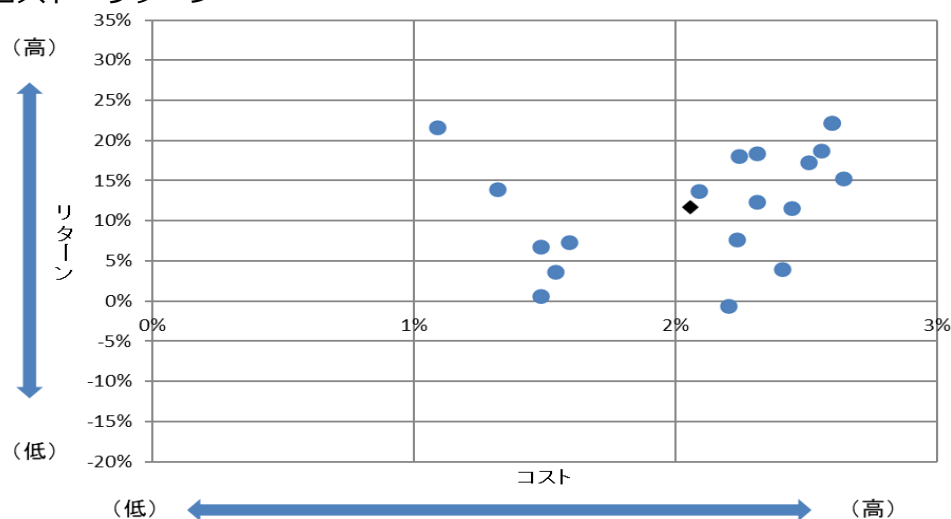
注1) 運用損益：基準日時点の「評価金額＋累計受取分配金額（税引後）＋累計売却金額－累計買付金額（含む消費税込みの販売手数料）」で算出しています。

注2) 運用損益率：上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出しています。

（２）投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

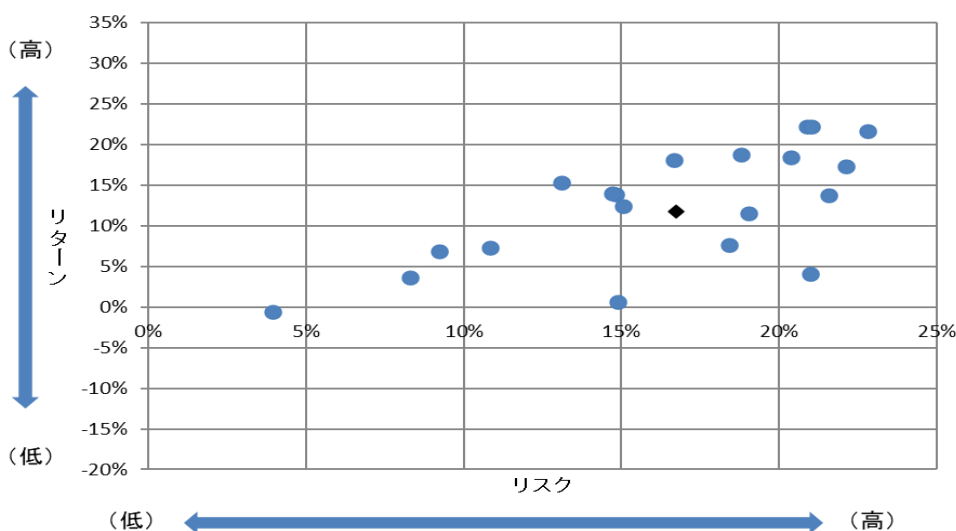
2024年3月末時点での、投資信託の預かり残高上位20銘柄のコストとリターン、リスクとリターンの関係を示した指標は、下表のとおりです。投資信託の預かり残高上位20銘柄の平均コストは平均コスト2.06%、平均リスクは16.75%となりました。一方、平均リターンは11.72%となりました。

➤コスト・リターン



残高加重平均値	コスト	リターン
	2.06%	11.72%

➤リスク・リターン



残高加重平均値	リスク	リターン
	16.75%	11.72%

注１）当金庫で投資信託の預かり残高のある銘柄のうち、設定後５年間以上の銘柄について、コスト、リターン、リスクを残高加重平均した値を算出しています。

注２）コストは、販売手数料（税込）と信託報酬率（税率）の合計値です。

注３）リターンは、過去５年間のトータルリターン（年率換算）です。

騰落率算出の際に用いる基準価額は、分配金再投資後（税引前）の基準価額です。

注４）リスクは、過去５年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）です。

騰落率算出の際に用いる基準価額は、分配金再投資後（税引前）の基準価額です。

注５）上記は将来における当金庫の取扱い投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。

(3) 投資信託の預かり残高上位20銘柄の個別明細
2024年3月

順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	14.90%	0.65%
2位	新光 US-REIT オープン	2.23%	18.42%	7.66%
3位	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.60%	20.90%	22.18%
4位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	9.24%	6.82%
5位	グローバル・ヘルスケア & バイオ・ファンド	3.08%	14.82%	13.85%
6位	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	1.09%	22.80%	21.66%
7位	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	2.60%	21.01%	22.19%
8位	ダイワ・インド株ファンド	2.51%	22.13%	17.34%
9位	AI(人工知能)活用型世界株ファンド	2.24%	16.66%	18.13%
10位	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	2.31%	20.36%	18.45%
11位	投資のソムリエ	2.20%	3.95%	-0.57%
12位	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	2.09%	21.59%	13.74%
13位	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	14.72%	13.95%
14位	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)	2.44%	19.03%	11.54%
15位	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	21.00%	4.04%
16位	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.54%	8.31%	3.64%
17位	ニッセイ宇宙関連グローバル株式ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	2.56%	18.78%	18.75%
18位	損保ジャパン・グリーン・オープン	2.31%	15.05%	12.37%
19位	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	2.64%	13.12%	15.28%
20位	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.60%	10.84%	7.30%
残高加重平均値(◆)		2.06%	16.75%	11.72%

注1) 設定後5年間以上。

注2) 上記は、将来における当金庫の取扱の投資信託のリターン、リスクを示唆するものではありません。